

山行報告書

4月9日

鏡山（6月例会下見）

平尾 繁和

山名	鏡山（385m）		山行名	6月例会下見		
ルート	野洲駅～三井アウトレット～鳴谷池～鏡山～道の駅鏡の里～野洲駅					
山行日	2019年4月9日（火）		天候	晴れ		
参加者	CL：平尾 SL：上杉					
ルート概略図 省略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		
	野洲駅	着	8：38	鏡山三角点	着	10：35
		発	8：55		発	11：00
	三井アウトレット	着	9：15	道の駅鏡の里	着	13：00
		発	9：30		発	13：44
	鳴谷池	着	9：45	野洲駅	着	14：00
発		9：45	発		14：05	
<p>鏡山の登山口は4ヶ所あるが、今回は三井アウトレットパークから鏡山山頂をふみ三角点を北上、尾根筋を縦走し星ヶ峰を経て道の駅「竜王かがみの里」に降りる鳴谷ルートをとった。地下横断路をくぐり、すぐ舗装路と別れ右手に入っていく。竜王八景のひとつ「鳴谷溪流」を右手にみる、溪流は小規模だが清流が心地よい。ヒサカキの臭いがする。しばらくすると正面に鳴谷池が見える。右手に薬師からのハイキングコースとであう。春先なので鳴谷池の水量は少なく地面が見えていたが、大雨のあと橋が水面下になる時は右手に迂回路がある。ここから緩やかな登りが始まる。4月21日にはトレイルランニングが行われる予定でコースにテープが張ってあった。山頂へは雲冠寺跡をとおるコースと右へ回るコースがあり後者をとった。当日時間があれば雲冠寺跡へピストンをしてもいい。散策路とある平行路を行き鏡山山頂につく、樹林に囲まれ展望はない。右手を少し下った所に展望広場がある。左へ三角点に向かう。三角点の手前から左手（西側）に湖南の地が見え三上山を望むことができる。三角点からは北へアップダウンの小山を下っていく。三上山への道を左にやりすごし、しばらく行くと涼み岩、あとは尾根筋を外さぬよう道がついているのでひたすらすすむ。1時間あまりで小ピークの広場、星ヶ峰につく。北東、北西に展望が開ける。湖東の長命寺や八幡山、西には湖西方面が見える。重要文化財になっている石灯籠と宝篋印塔がある西光寺跡にでてくる。ショウジョウバカマやスマレ、ヤマザクラが見られた。獣除けの扉をでると前に道の駅が現れる。鏡山は、東の竜王山・雪野山に対し、西の竜王山・鏡山といわれ、雨乞岳竜王山（385m）と星ヶ峰（207m）の総称で石英斑岩からなる名山で、歌枕として古くから有名であったらしい。（一説では、和歌、俳句、漢詩に百余も登場するらしい）山腹から山麓にかけて古墳や登り窯群が多く、道の駅の北を通る国道8号線は旧中山道で交通の要地、中世には鏡の宿駅として栄えたらしい。源義経が奥州下りの時にこの地で元服したと伝えられ、ゆかりの池が近くにある。</p>						
ヒヤリハット なし						